

かわにし



アートは
おいしい!



人口の動き

—9月1日現在—

男	3,977 (+1)
女	4,040 (+2)
計	8,017 (+3)
世帯数	2,284 (+2)
() は前月比較	

特集 ベリーでつながる...2
まちの話題...4

お寄せくださいあなたの意見・提案・質問...8



もうすぐできるよ

特集

ベリーでつながる

8月1日から10日にかけて、十日町地域広域6市町村で「大地の芸術祭越後妻有2004夏10days」が開かれ、各地でワークショップやシンポジウム、演劇などの催しが行われました。川西町では、昨年の第2回大地の芸術祭の作品「ベリースプーン」を会場に、作家が参加して絵皿作りやベリージャム作りのワークショップが行われ、子どもたちからお年寄りまで多くの人たちが「世界でひとつだけのオリジナルジャム」を作りました。

ワークショップを主導した作家と、この催しを支えた「こへび隊」の一人から感想や思いを寄せていただきました。

もあり、「ベリースプーン」が確実に川西町に根付いていることがうかがえます。

こうした事業が定着する上で重要なことは、地域の人たちの参加はもとより、作家自身の思いや、地域と作家の橋渡しをする人たちの存在です。

作家で「ベリースプーン」の作者である to the woods (森口雅浩・章代夫妻) と、「こへび隊」の中核としてずっとこの事業に関わってきた岩崎美和子さんから、感想とメッセージが届いていますので紹介します。



to the woods
森口雅浩・章代

雨のち晴れ

雨はあがって雲のすき間からまぶしい太陽が照りつける真夏の午後、ベリーを摘みとるには最高の条件だ。

子供たちは口のまわりを真っ赤にそめながら、両手いっぱい

のブラックベリーを摘んでくる。みんなの手から集められたベリーたちでジャムを作る。新鮮な、しかも自分たちの手で採ったもぎたてベリーで作るジャムは格別だ。

砂糖をふりかけて火にかけて、とろみが出て甘酸っぱいおいしそうな香りがしてきたら、それを一気に瓶に閉じ込める。その瓶に作者それぞれの手作りオリジナルラベルを貼って、「世界にひとつだけのベリージャム」の出来上がり！

ベリーの絵皿でベリーを食べる

今年の大地の芸術祭「越後妻有2004夏10days 真夏の里山体験」において、川西町ナカグリーンパークのベリースプ

ベリーワークショップは最多の人数

今回行われたイベントは、大きく分けて「地球環境シンポジウム」「鬼太鼓座公演・和太鼓」「里山かくれんぼ」など広域全体で取り組むものと、各市町村ごとに取り組む様々なワークショップ

ワークショップの二つがありました。

川西町では、ナカグリーンパーク「ベリースプーン」で、「オリジナルのベリー絵皿を作る」が七月二十四日・二十五日に、「世界でひとつだけのオリジナルジャムを作る」が八月一日〜十日に、作家指導のもとで行われました。

二つのワークショップには、

延べ四〇〇人以上が参加し、期間中六市町村で行われたワークショップの中では最も多くの人出がありました。

昨年来訪れているリピーターも多く含まれ、中には大阪から何度も参加している人もありました。また、ベリーに関する専門家の視察や、ベリーを活用した地域づくりの関係者の見学

一心に自分だけのベリーを描きます



ーンでは、「ベリーの絵皿作り」
そして「ベリージャム作り」を
体験してもらいました。

「ベリーの絵皿作り」は、主
に子供たちを対象に、ベリース
プーンの多種ベリーたちを観察
し、素焼きの皿に描きました。
絵付け後の皿は、釉薬をかけて
本焼きし、芸術祭一〇日間の間
に取りにきてもらいました。お
皿は、どれもみんな個性的なも
のに出来上がり、子供たちも満
足そうでした。そんなベリーの
絵皿でいっぱい盛ったベリー
を食べるといづのは粋じゃあり
ませんか？

「ベリージャム作り」は、朝十
時、昼二時と夕方四時の三回、芸
術祭期間中毎日行いました。こ
のワークショップには老若男女、

川西町住民のみなさんはもちろ
ん、地域外、東京、大阪からお越
しの方など、たくさんの方々に
参加いただき大好評でした。

川西町に根付くベリー

「ブルーベリー、ラズベリー、
ブラックベリー、グースベリー
にカラント…」ベリースプーン
に遊びにきてくれた川西町の予
供たちの会話の中には、ブルー
ベリー以外のベリーの名前が自
然に飛び交うようになりまし
た。

ここ川西ベリースプーンで育
った一才三か月の息子も、つい
に実と葉の区別どころか熟して
いる実とそうでない実の区別も
できるようになりました。



お父さんもジャムづくりに燃えました

夏休みにベリーの研究をした
いという小学生も訪れました。

ベリーハウスのベリーヨーグ
ルトやベリー茶で一服しくる
リピーターも増えました。縁の
下の力持的存在である現地ス
タッフは、着々とベリー加工品
開発を行い、農の料理コンテス
トで、前年に引き続き「ブルー
ベリーピラフ」でひらめき賞を
受賞しました。

ベリーたちは、確実に川西の
町に根付いてきているようで
す。まもなく、川西住民のみな
さんの中からベリー博士が生ま
れるかもしれませんね。

ベリーを食べて健康な体

ベリーは体にいい小粒の果物
です。例をあげると、ブルーベ
リーやブラックベリー、黒ずぐ
りには、眼精疲労や視力回復に
良いだけでなく、脳神経を守つ
て老化防止、記憶力や運動機能
を改善させる効果、またがん予
防にもなる成分が多く含まれて
います。小粒果実の中の小さい
種は食物繊維として胆石予防に
もなるとも言われています。

来年の夏も子供たちはもちろ
ん、川西のおじいちゃん、おば
あちゃんにもぜひベリースプー
ンに来ていただき、たくさんべ

リーを食べて、みなさんすま
す元気になってほしいと思っ
ています。

(オーストラリア・ウィーン在住)



こへび隊 岩崎美和子

方言を話したい

今年の夏は特に暑かったが、
それにも負けずベリースプーン
は大成功！そしてベリーの苗と
ともに大成した。

去年に比べ今年のミニ芸術祭
は十日間という短い期間だった
にもかかわらず、多くの地元の方
々に支えられながら毎日多くの
来訪者で賑わっていた。去年
の今ごろの私は、川西町に来た
ばかりで地元のことをあまり知
らずにただベリースプーンにい
た。

「川西町はどんな町ですか？」
と聞かれてもマニュアル通りに
しか答えられなかった。しかし、
それから一年がたち雪まつりを
始め様々な地域のイベントに誘
って頂き参加しながら、地域の
方と話す機会も増えて、自分な

りに川西町を知り、来訪者に今
なら近道まで教えられるまで
になった。少し地元っ子になれ
た気がしてうれしかった。

一年で感じたことはやはり地
元パワーはすごいということ
だ。いつも圧倒されてしまっ
た。いつも協力がなかったら今年
のベリースプーンの成功もなかつ
たと思う。

これからまだまだベリースプ
ーンは成長し続ける。これから
もベリースプーンを温かく見守
ってほしい。これから秋にかけ
てラズベリーが二回目の実をつ
ける。※「それもまた、ぜひ見
て味わってみてほしい！」
（私の今の目標は、方言が自然
と話せるようになること
です！）

編集部注…※「それもまた、
どーでも見にきて味わっていが
っしゃい！」ということのよう
です…。

（女子美術大学芸術学部工芸学科
三年／横浜市出身）

ベリーは秋の施肥、剪定作業
を経て冬は雪の下で休み、来春
新たな芽を吹き、そして実を付
けます。

そのときは、また今年のように
な出会いと体験の場が設けられ
るでしょう。今年行けなかった
人、こった、どーでもいいござの。

七代目ALTの エイミーです



7代目ALT（語学指導助手）のエイミー・ガルシアさんが7月に来町しました。

アメリカ合衆国インディアナ州出身の、24歳の女性です。今回で3回目の来日で、以前京都、関西、富山を訪れたことがあります。新潟は初めてとのこと。

川西町の印象は？の問いに、「かわいらしくて、綺麗な町です。また、住むには良いところだと思います」と気に入ってくれたようです。エイミーさんが生まれ育ったのは人口30万人の大都市で、安全でのどかな町に憧れがあったそうです。

また、趣味は日本庭園を見に行くことで、温泉も大好きだそうです。

皆さんも、気軽に「エイミー」と声をかけてみてください。

三十四年目の川西町少年野球大会開催



力投！VS巧打！

八月二十一日、庚塚運動場の野球場を会場に第三十四回川西町少年野球大会が開催され、少年球児たちは、大勢の観客の応援を受けながら熱戦を繰り広げました。

この大会は、昭和四十六年に第一回大会が開催され、以後回数を重ねて、長い間町の少年球児たちの夢を育んできました。この歴史ある大会も、川西町としての開催は今年で最後となりそうです。

「三十四年間という長い間、大会の開催・運営にあたりご支援・ご協力をいただきました関係者の皆様」に心から感謝申し上げます」と主催者は感慨深げに語っていました。

大会結果は、次のとおりです。（敬称略）

第1位 千手タイガース

特別賞

第2位 橘ドラゴンズ

《ホームラン賞》

第3位 千手ライオンズ

千手タイガース 高橋邦浩

第4位 上野ホークス

《敢闘賞》

千手ライオンズ

阿部強志

今年もにぎやかでした 自然子ども村



見よう見まねで
テント張り



やっぱりイカダ下りは最高！

今年で十五回目を迎える「川西町自然子ども村」が、八月五日から九日の五日間、仙田地域を中心とする町内一帯で行われました。

この催しは、川西町の自然を活かした体験活動をおし町内の児童と都市部の児童が交流することを目的として、実施しているものです。

今年も、県内の都市部や首都圏を含む町内外から三八人が参加しました。

子どもたちは、キャンプやホームステイなどを行い、食事作りや農作業体験などを通じて、新たな友だちとの共同生活を楽しんでいました。

そのほか、イカダ下りや節黒城周辺散策など、川西町の自然とふれあう野外活動が行われ、山や川では、子どもたちの元気な声が絶えず響いていました。

最終日に書いてもらった感想文からは、「新しい友だちができた」「今までやったことのない経験ができた」など、それぞれ少なからず得るものがあったことが伝わってきます。

あかね園で増改築工事起工式 32床増床へ

特別養護老人ホームあかね園（丸山晴久施設長）の増改築工事の起工式が、8月23日、同園の敷地内で行われました。

増築部分は鉄筋コンクリート2階建て、建築面積は約2,647平方メートル、延べ床面積は3,943平方メートルで、ユニット型個室32床を増床することになっています。改築工事は、これまでの4人部屋を解消して個室と2人部屋にするもので、総工事費は約9億400万円となっています。

これにより、これまでの入所30人、短期入所18人の合計48人から、入所62人、短期入所18人の計80人となり、あかね園だけで58人、圏域全体で540人を超える入所待機者の待機期間短縮が図られることとなります。



あいさつする渡辺理事長

あかね園を運営する社会福祉法人あかね会の渡辺春吉理事長は、「あかね園開園から10年目の節目の年に、前々から願っていた増改築工事がかない、感無量です。税金でまかなう施設は社会の財産であり、これまで慎重の上にも慎重を期して運営に当たってきました。これからもその姿勢を貫き、作ってよかったという施設にしていきたい」とあいさつし、着工の喜びと今後の運営への決意を表明しました。

生まれ変わったあかね園は来年春にお目見えします。



関係者がそろってテープカット

八月二十三日、賑わい空間エリアの一角に、JA千手支店とともに、農産物直売施設「千年の市・じろばた」がオープンしました。

これは、JA十日町川西地区女性部の千手直売施設管理組合（高橋芳江組合長・二三人）が運営するもので、JAがこうした直売施設を整備するのは初めてのことで、オープニングセレモニーでJA十日町の尾身昭雄組合長は、「この千手を拠点に、管内全域の農産物の直売の輪を広げていきたい」とこの施設の意義と事業展開への期待を述べました。

「じろばた」は、約五〇坪の面積があり、農産物直売、農産加工品販売、飲食コーナーの三部門に分かれていて、手づくりあんぱやおやきの製造販売、地そばと川西コシヒカリのおにぎり定食の提供など、ここならではのオリジナル食品も扱っています。

評判も上々で、「味もボリュームも申し分ない」と満足げな表情で店を出る人の姿が多く見られました。



賑わう「じろばた」

農産物直売施設 千年の市「じろばた」がオープン

消防団第4分団(野口) 県大会出場

8月1日、阿賀野市で「第55回新潟県消防大会」が開催され、十日町地区支会の代表として第4分団の野口チームが出場しました。

当日は、25チームが出場し、声援が飛び交う中、練習の成果を競いました。

競技の結果、小型ポンプ操法の部で18チーム中8位と健闘しました。競技を終えて、「連日、指導して下さった消防署の方々をはじめ、支えて下さった地域の皆さんに感謝します」と江口俊博班長（35）は感想を語ってくれました。

2か月に及ぶ練習、大変お疲れ様でした。



力強い操法を見せてくれました

本校では夏季休業中、「総合的な学習の時間」の一環として一学年では「ボランティア体験活動」と「ソバまき」「救急救命法講習会」。二学年は「企業体験活動（インターンシップ）」と「企業訪問」を全員で実施しました。

一学年のボランティア体験活動では町内の保育施設、各福祉施設にご協力とご指導をいただき実施させていただきました。

高校生とはいっても、精神的に未熟のところもあり、ご迷惑をおかけしたところもあったかと思いますが、生徒にとっては貴重な経験だったようです。

また、二学年では川西町（一部十日町市を含めて）に所在する各企業・工場・商店四十社以上からご協力をいただき、企業



体験活動（インターンシップ）を実施することができました。生徒にとっては、今回の体験により、社会の仕組みや仕事の厳しさを垣間見ることができ、今後の進路について、深く考える良いきっかけとなったのではないかと思います。

◆インターンシップ日誌◆より

二学年のインターンシップでは個人で日誌をつけていましたので紹介します。

【一日目】

今日は、九時十分に店に行きました。こういう仕事は一度もしたことがなかったので、初めてのことはかりでした。戸惑ってばかりで、従業員の方々に迷惑をかけたかもしれません。少し緊張してましたし、恥ずかしく

て、「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」が聞こえました。明日は、従業員の方々とコミュニケーションをとって、あいさつを頑張りたいです。

【二日目】

今日は、従業員の方々と少し話をすることができました。店長さんは、この仕事の大変なところ、苦労していることを話してくれました。昨日、私が棚に並べた商品が売れていって商品が少なくなっているのを見たとき、すごく嬉しかったです。「私も役に立っているのかなあ」と、実感できました。

【三日目】

店長さんが午前中にしか店にいないということなので、午後の方は、しなくてよいことになりました。せっかく作業する内容、スピードが分かって、早くなってきたのに、今日で終わりのはずがすごく残念です。

【反省】

三日間、働かせてもらったけれど、働くことって大変なんだなあと思いました。でも、楽しかった。初め「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」の音が小さかったけれど、三日目

になると、大きな声が出るようになりました。

【感想と今後の抱負】

いつも部活動ばかりしていたので、今回こんな風に働いてみるのも良い経験になったと思います。ふだん、親はこんな大変な思いをして私たち家族のために働いてくれていると思うと、私は、親・家族のために何もしてあげられないし、まだまだ子どもだなあと、つくづく思いました。三日間の仕事を通して、大切だと思ったことを日常生活でもしていきたいです。

（食品小売店を体験）

【一日目】

私は布団の巾着を計る仕事をしたけれど、布団一枚にすごく手間がかかると思いました。ただ計るだけでも、すごく大変でした。他に布団の中に針などが入っていないか検査機に通しました。布団を使う人が安全なように、そこまですることに「すごい」と思いました。

【二日目】

今日は二日目で、昨日仕事をしたので、ある程度仕事ができばきました。けれど、昨日



の疲れがあつて、すごく眠く疲れました。職場の人たちとも仲良く過ごせましたし、疲れていたけれど、作業終了まで時間が早く感じました。

【三日目】

今日は最終日、大変疲れしました。ひと通り仕事もちゃんと出来たし、朝もあいさつがしっかり出来ました。その後、他の仕事場を見学し、どこも、ていねいに布団作りの作業をしている様子を見ました。

【反省】

はやく仕事をやりすぎたみたいで、職場の体験の人が追いつけなかったのも、相手のことも

あなたの話題 わたしのヒトース



再起を誓う川西拳士

《入田 仁さん（十日町市） 発》

八月一日、東京都足立区綾瀬の東京武道館に全国各地の厳しい予選を勝ち抜いた小学生拳士の精鋭たちが集い、第四回全日本少年少女空手道選手権大会が開催されました。

本紙七月号で報告しましたとおり、千手小五年の中条美月選手（伊友）と同小三年の高橋寛行選手（東善寺）が新潟県予選を勝ち抜き、県代表として堂々たる試合を繰り広げました。結果は、中條選手が入賞まであと一



歩のベスト一六まで進出、一方、三年連続出場となり、一年生のときには五位入賞を果たしている高橋選手も二回戦まで勝ち上がりましたが、こちらも惜しくも三回戦で敗れ、入賞はなりませんでした。

しかし今回敗れましたが、中條選手は空手を始めて一年足らずで全国大会一六強進出、高橋選手も三年連続で県大会を勝ち抜いての出場と、今後



にさらに大きな期待が持てます。実際に二人は試合会場にて、来年のリベンジを誓いました。八月六日には町教育

考えて仕事をするべきだったと反省しました。また、布団作りではミシンを使う作業があり、上手に縫えなかったので、練習をしておきたいと思いました。

【感想と今後の抱負】

三日間、職場体験に行き、改めて働くことが大変なことを実感しました。仕事の方は、職場の人に言われたことを、きちんと出来たし、朝や終わった後のあいさつもすっかり出来て良か

ったです。今回の経験は、朝も早く、すごく大変だと思ったので、自分に合っている仕事を探して就きたいと思いました。（工場作業を経験）

今回は、二学年の企業体験活動を中心に掲載させていただきました。次回は、一学年のボランティア体験活動・救急救命法に参加した感想をお知らせしたいと思います。

真夏に寒さを体感

《宮 啓一さん（山野田） 発》

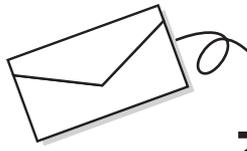
委員会において、丸山進公民館長に試合の報告を行いました。高橋選手は「来年こそ、必ずメダルをもらって帰ってきます。」と力強く来年に向けての目標を語りました。これからも川西拳士達の戦いは続きます。皆様の熱い声援をお願いいたします。

川西町スポーツ少年団の恒例行事となった「合同キャンプ」（第二十五回）が、八月七日から八日にかけて長野県野沢温泉村のスタカ湖キャンプ場で、団員・母集団・指導者をあわせて約九〇人の参加のもと開催されました。川西町では猛暑が続いていましたが、標高二千数百メートルのキャンプ

場では、夜が深まるにつれて気温が下がり、長袖を着用しないと過こせない程でした。しかし、団員たちはテントの中で夜更けまで交流を深めていましたので、寒さを体感したのは大人だけかもしれません。今年も大勢の参加をいただきありがとうございました。



「伝統のカレー」で舌鼓



お寄せください あなたの 意見・提案・質問

町では、皆様のご意見やご提案をまちづくりを生かしていきたいと、「まちづくりについての提言や意見・質問」をいただいています。

これまでに届いたものの中から、紙面で紹介する必要のあるものを、内容を抜粋してご紹介します。

水力発電に対する課税は？

(79歳・男性)

Q. ①合併は何のためにすべきであるかを理解していない人が多い。道州制についてはどうか。②水力発電に対する法定外目的税課税について検討すべきではないか。

③米の生産方式と生産費の検討(無農薬)方式の確立はどうか。

〈多方面から検討します〉

A. ①十日町広域圏五市町村では、市町村を取り巻く社会情勢の大きな変化に対応するために市町村の区域、行財政のあり方などを見直す必要性が生じています。一つには、地方分権が進み今まで以上に市町村の自治能力の向上が求められること、二つには、雇用の創出、高齢社会に対応した課題に対して広域的かつ一体的な施策の展開が必要であること、三つには、行政のスリム化と安定した財政基盤の確保により一層充実した住民サービスとの提供が求められていることなどがあげられます。このような社会の動向のみならず、十日町広域圏では通学、



首都圏に電力を供給するJR千手発電所

通勤、買い物など概ね同一の生活圏が既に形成されており、五市町村の合併により行政の区域と生活の区域を同じくすることで利便性の向上が期待できます。このことから、広域五市町村では平成十四年一月に任意協議会を立ち上げ、また、十六年四月には法定協議会を設置し、多岐にわたって協議検討してきました。協議の結果について住民のみならずにお知らせし、また、合併に対する意向調査もさせていただきます。

この結果、町では、協議会での協議の経過、住民懇談会での意見交換、関係団体との意見交換、住民アンケートの結果、さらに、町議会との協議を重ねたうえで市町村合併の判断をさせていただきます。ご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。なお、道州制につきましては、町に入る情報量が少なく、また、市町村との関わりが不透明であることから、具体的なお答えができませんことをお許しください。

②地方公共団体の課税自主権の尊重から、超過課税など税率の自主設定のほか、法定外普通税、法定外目的税の「法定外税」を課税できることが地方税法(地方税法四六条六項、五七条七項)上認められています。

法定外目的税は、受益と負担の関係が明確である場合の法定外税として、新たに設けられたものであり、特に、特別の財政需要を生み出している者に対する課税の採用を容易にする働きをするといわれています。

法定外目的税(法定外税)を設けるか否かは、地方公共団体の自由であるが、新設するときにはあらかじめ総務大臣と協議し同意を得なければならぬとされています(地方税法二五九条、六六九条、七三二条)。総務大臣は協議を受けたときには何点かの事由に該当しない場合は同意しなければならぬとなつています(地方税法二六一條、六七一条、七三三條)。

ご提案の水力発電に対する課税方式については、今後検討していきたいと考えています。

③環境保全型農業で価値の高い米づくりを

米の生産方式として、慣行機械移植栽培、直播栽培、減農薬減化学肥料栽培(減々栽培)および有機栽培があります。一般

的に行われている慣行機械移植栽培は、組織化、団地化による効率的な機械施設利用で農機具費、労働費、建物費の軽減につながります。川西町では生産組織が効率的に農作業を行っていますので、他市町村に比べて安い生産費になっています。

直播栽培は、種籾を直接田んぼに播くという方式で、育苗経費の大幅な軽減を狙ったものですが、発芽率や鳥、雑草対策など技術的に確立されておらず、収量も不安定なことから、その面積の二三%が転作面積にカウントされています。

有機および減々栽培は、環境保全型農法として注目されています。生産費は、化学肥料や農薬の経費が軽減される一方で、有機質肥料や堆肥の経費が増加し、また除草などに労力を要し、慣行栽培に比べ高くなります。そして、省力できる部分が少ない、スケールメリットも難しい方式です。しかし、こうしたことで生産量が限定され、有利販売にもつながっています。これらは、技術が確立されていないことや収量が不安定なことから、有機栽培で一五%、減々栽培で七%が転作面積にカウントされています。

今後の生産方式として、町では、消費者重視の「安心・安全

の売れる米づくり」をめざし、堆肥施用の土づくりを推進します。そして、減々栽培や有機栽培といった環境保全型農業を町内全域に広め、発信し、より価値の高い川西米の産地を築きたいと考えています。

現在建設中の有機センターで生産された堆肥を有効利用するため、生産組織連絡協議会で堆肥生産と機械散布を行い、町や関係機関も積極的に関わりながら堆肥施用の経費軽減に努めて、土づくりによる環境保全型農業を推進していきたいと考えています。

自販機と禁煙について

(45歳・女性)

Q. ごみ問題を学んでいくと、ごみを出さない工夫が大切であることが分かる。

① 役場にある自販機が職員のためのものであれば、水筒を持参することで足りるのではないかと。

② 役場の禁煙に対する対応はどうか。

③ 建築中の千手中央コミュニティセンターにも自販機コーナーができるの聞いて驚いた。無駄な電気とごみが増えるばかりなので、両施設の自販機のコーナ

ーは廃止して、エココーナーに換えてほしい。

〈役場は禁煙です〉

A. ごみの排出量は、産業の発展と生活水準の向上に伴い年々増加傾向にあります。町でもごみの減量とリサイクル化は大きな課題と位置づけ、資源ごみの分別処理やごみの再資源化を図っているところですが、ご指摘のとおり「みんながごみを出さない工夫をする」ということが根本だと思っています。

① 現在、役場庁舎に設置してある自販機は、たばこ自販機がある

一台、飲料水自販機が二台の計三台です。確かに職員の福利厚生要素もありますが、設置のきっかけとなったのは、多くの来庁者からの強い要請があったことです。住民ニーズからの設置であることもご理解いただきたいと思います。

しかし、ご意見の「ごみを出さない工夫」という観点からは、現状のままではいえないと思います。自販機の契約更新時(一年ごと)に契約)に、改めて検討したいと考えています。

② 平成十五年五月一日に健康増進法が施行され、同法第二十五条により、多数のものが利用する施設の管理者は、受動喫煙(室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをい

う)を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならないこととされました。

これを受けて、役場でも平成十五年九月、役場庁舎を禁煙とさせていただきます。ご報告のところで(広報かわにしNo.542参照)役場庁舎だけでなく、職員配置のある公共施設についても施設内は禁煙と



庁舎入り口の吸い殻入れ

し、玄関先に灰皿を設置し、お客様にもそこでタバコを消して入館していただくよう周知しているところです。

また、公用車についても禁煙となっています。

③ 現在工事に着手した、総合センターを改修し新たな施設を作る構想は、平成十二年春に「賑わい空間創出事業」基本構想の中で具体化しました。その後、施設の内容、各部屋の大きさ、配置などについては、平成十四年から十五年にかけて多くの町民の方々から参加をいただいた、ワークショップで基本的部分がまとめられたものです。

自販機については、一階部分に「自販機コーナー」を設けています。この自販機設置については、ワークショップの中で検討された経過があります。施設の使い勝手を施設全体について点検したときに、このコミュニティセンター施設を利用する方々が必要なもの(機能)の一



庁舎1階にある自動販売機

つとして自販機コーナーを設けることにしました。町ではその意見を尊重して必要性を考慮し、実際に建築する計画の中に自販機コーナーを設けることにしました。

したがって、このコミュニティセンター施設に設ける自販機は、「無駄な電気」を消費するものとは考えていません。また「ごみが増える」という点については、適切なごみ処理（リサイクル）を行うなど、ごみを増やさない工夫をしていきたいと考えています。

どのような種類の自販機を設置するか、自販機設置に伴う「空き缶」「空き瓶」などの処理をどのような方法をとるか、空き缶等の出ないような自販機も含めて具体的にはこれから検討を進めます。

ご提案いただいた「エココーナー」とは、どのようなコーナーなのか文面からは不明ですが、自販機コーナーの広さは四メートル×一メートルです。一般的な飲料水関係の自販機二、三台程度を設置する広さです。

悪臭をなんとかして

Q. (65歳・男性／60歳女性)
毎日ブタの悪臭がして、戸

も開けられない。また夜間は力ラスの犬群が鳴き声もうるさく、眠れない。

お客様がきて、「なに、これ」って驚くので恥ずかしくなる。特にブタの悪臭を早急に何とかしてほしい。我慢も限界だ。

〈決め手がないのが実情〉

A. 養豚悪臭は、東部地域全体の長年の環境問題です。悪臭は、豚の生体、豚舎、糞尿から発する複合臭です。養豚農家は、飼料に消臭剤を混ぜ、堆肥舎に消

臭剤を散布し、豚舎内の清掃を毎日行うなど防止に努めています。飼料に混ぜる消臭剤と堆肥舎の分を合わせると、年間で二〇〇万円を超えるとのこと

です。長年、様々な方法を取り入れ努力していると思われませんが、現在の消臭技術では、臭気を減少できても完全になくすことは難しく、農家、行政ともに苦慮しているのが実情です。

人間の臭覚は、臭いの強度が九割減っても、半分くらいの減少にしか感じないそうです。それなりに効果をあげているもの

と思われませんが、時代の流れで、臭気に対する住民意識も高くなっています。悪臭を完全になくすには移転か廃業しかなく、現実的には大変難しい問題です。

町としては、現在行っている臭気調査や環境パトロールを強化し、引き続き関係機関と連携して、監視、指導していきたいと考えています。あわせて、悪臭防止に係る情報を収集し農家に提供するとともに、必要な消臭施設整備の支援に努めたいと考えています。

また、現在有機センターを建設中ですが、その技術情報の提供や豚糞利用などで、悪臭の減少につなげたいと思っています。

次にカラスの鳴き声がうるさいとのことですが、カラスは都市、農村を問わず増えており、集団して生ごみを食い荒らし、鳴き声などで社会問題になっています。カラスは、鳴き声で集合、相手の確認、自己主張、威嚇、警戒などをします。カラスが来ないようにするためには、一般的ですが、生ごみをしっかりとった容器に入れる、農作物をネットなどで覆うなど、近くのえさとなる物を食べられない状態にしておくことです。捕獲する場合、カラスは野鳥なので市町村長の鳥獣捕獲許可が必要です。町の猟友会では、毎年六月中旬

●おねがい●
このコーナーでは、皆さんの素朴な疑問や積極的なご提言をお待ちしています。全世帯にお届けした提案用のハガキは、役場の窓口にも用意してありますのでご利用ください。
なお、提案・質問等は何でも結構ですが、一方的な攻撃や中傷、個人的な内容等はご遠慮ください。
また、匿名の場合は、直接の回答ができませんし、原則的に紙面でもご紹介できないことを、ご承知おきください。



タヌキの宝石坊ほうせきぼう

野口のムラは、田んぼへ引く水が不足していたので、あちこちに小さなタナンポ（池）をつくって水を溜めておいた。

そして、そのタナンポには、大川で採ってきたコイやフナを飼ったりして大事にしていた。

ところが、そのタナンポを荒らして魚を盗み取る者が出てきた。乱暴なやり方で、土堤を引つかいて水が漏れ出るようになるので、稲の出来具合にも障りが出てくる。

「何者がこんなことを―」と皆が腹を立てたが、分からない。荒く引つかいた爪の跡があるので、ムジナかタヌキじゃないかと話しているが、夜中にする事なのでも見当がつかない。

そのようなことが続いているうちに、昔のことを思い出した老人がいて、山に宝石坊という



今も利用されているため池

タヌキが住んでいて、時々里へ出てきては悪いいたずらをしたという話を聞いたことがあるけれども、その仲間か子孫の作業ではないか―と教えた。

そうか、宝石坊のことだったのか、畜生めと、あらためて皆が怒って見たけれども、どうして防いだらいいのか分からぬ。

大地主の旦那様に届けようとしていたコイを、二度三度と、何匹もとられてしまった伍平は、腹の虫が治まらないまま、何とかして仇を打ってやろうと

いろいろ考えた末に、イタチ落としての大きなものを仕掛けよう

おふくの巻 (第四十一回)

上野 上村政基

と工夫してみた。

一日二日は何事もなかったが、四日目の朝に伍平が出掛けると、居た居た。不細工な箱の中に、大きな目をギョロツと光らせて、タヌキがすくんでいた。

跳びあがって喜んだ伍平は、「ザマアみる、悪いことばっかりするからこういうことになるんだ」と大声で怒鳴りつけた。

「俺たちが大事にしているものをみんなダメにしてしまった、人間たちが一生懸命になつてい

る気持ちは分らんか」「だから畜生といわれるんだ」と、三

周りに四周り手足に縄を掛けながら、伍平はしかり続けた。ところが、小さく身をすくめている宝石坊を見ているうちに、伍平は何となく可哀想になつてきた。

丸い目に涙をいっぱい溜めているのに気が付いたら、伍平は何ということなしに、助けてやろうという気持ちになつてきた。

とうとう、「お前だつて、いろいろとわけもあることだろうが、俺たち人間だつて大変なんだ。毎日を汗水流して働き、誰もがやつと生きているんだ」「これからは、そういう人たち

の邪魔をするような悪いことはしてはならん」と、話も静かに結んで、縄を解いてやった。

いまにも叩き殺されてしまうと思つて、助けを求めると分かつて、びっくりしながらも、小さく土にひりつくようになつて、あやまつた。

「自分の気持ちばかりで悪いことをしてきました。人間の苦勞していることなど、考えても見ませんでした。これからは仲間にもよく話して、人様の邪魔をするようなことは、いっさいしません」と詫びたあと、罪ほろぼしに、何かひとつ伍平にし

てやることがないか―と、顔をあげた。

そう言われて、伍平はいろいろ考えてみたが、とくに思いつくこともないからと断つた。

それでも何かないかと言われたら、伍平もつい誘われて、愚痴をこぼすように、「実は上野の旦那様に年貢が納められなくて借りたままになっているんだ」と話し、いままら田かきの手伝いでも行けば、少しくらいは勘弁してもらえらるだろうと、独りごとのように言つてみた。

すると、宝石坊は、それじゃあ私が馬に化けて田かきの手伝いをしてしましよう、クルリと宙返りすると見事な栗毛の馬

になった。

伍平は、その見事に驚きながら、それではお願いしてみるかと思つた。

旦那様では、貧乏な伍平が立派な馬を引いていったのでびっくりしたが、猫の手も借りたいくらいに忙しいときなので、早速田んぼへ入れて使つた。

はじめは張り切つて働いていた宝石坊の馬も、朝早くから日が暮れるまで追い回され、三日四日と経つうちにすっかり疲れ

てしまつた。

とうとう我慢しきれなくなつて、夕方若い衆の姿が見えなくなつたので、そつと馬栓棒を押し上げてぐり抜け、外へ逃げ出した。

道へ出て走り出すと、足音が高くパツカパツカと鳴るので、すぐに見つけられ、それ馬が逃げたぞ捕まえると、何人かで追いつけた。

捕まえられたらオシマイだと宝石坊は必死になつて駆け続けたが、背中に馬栓棒がはさまつていて邪魔になる。

新町新田の手前まで逃げ走つたところで、その棒がはずれ

うになり、足にからまつて、スッテンコロリンと道ばたのやぶの中に転がり込んでしまつた。

すると、宙返りしたので、馬に化けていたのが元のタヌキの姿になつて小さくなり、草やぶにかくれて見えなくなった。

追つてきた若い衆たちは、確かにここまで追つてきたんだがなあと、首をひねりながら帰つていった。

ようやくのこと伍平のころへ逃げ帰つた宝石坊は、人間的な苦勞していることがよく分かつたし、いい気になつてい

たずらしていたのがどんなに悪いことかよく分かつた、あらためてお詫びした。

そして、疲れたときにコブデが出て困っている人があるようだがと言ひ、それを治療するお灸の方法を伍平に教えて、宝石坊は山へ帰つていった。

（※注 伍平は仮名）

催し

「結いの里大学」

開催のお知らせ

九月十九日(日)

◎特別講演

■テーマ 「二十一世紀はスロ
ーフードな時代」

■講師 神戸山手大学教授 島
田彰夫氏

■会場 水沢中学校体育館

■時間

〈受付〉 午後十二時半～

〈開会〉 午後一時半～

■聴講料 五〇〇円

◎懇親会

■会場 なくも原・結いの里

■定員 一〇〇人

■時間 午後六時～八時

■会費 三、〇〇〇円

九月二十日(祝)

◎体験学習コース

■【料理】 伝統料理他

■【自然観察】 南雲原農場周辺を
探索

■【農作業体験】 稲刈り、はざ掛
け

■会場 南雲原農場周辺

■参加費 一、〇〇〇円

■申し込み・問い合わせ
なくも原・結いの里事務局

☎・FAX
0257-50-2443

第七回かわにし福祉 まつり



■日時 十月三日(日)

■会場 川西町総合体育館

■時間 正午～

■内容

●チャリティーバザー

●子育てネットワーク「ひろば」
フリーマーケット

●介護福祉機器展示および実演

●体験コーナー

●高齢者擬似体験、車椅子体験
等

●なごみの家作品展示・販売

●川西中学校、川西高校生徒に
よるボランティア体験発表

●陸上自衛隊高田駐屯地音楽ク
ラブの演奏

■問い合わせ

川西町社会福祉協議会

☎0257-68-3343

染人作家

星名夢也の世界

■期日 十月二日(土)～
十月五日(火)

■時間 午前十時三十分～
午後六時三十分

■会場 東京表参道・新潟
館ネスパス

■問い合わせ
工房・千染創

☎0257-68-233
85

募集

魚沼地区障害福祉組合 職員募集のご案内

魚沼地区障害福祉組合では、
次のとおり職員を募集します。

■採用人員

〈一般職〉二人

〈非常勤一般職〉二人

■採用予定日

平成十七年四月一日

■職務内容

魚沼学園・魚沼更生園入所者
支援、変則勤務、夜勤有り

■賃金身分等

職員の給与の支給に関する条
例又は小出町非常勤職員取扱要
領に準じる。

■応募資格

保育士、社会福祉士、社会福
祉士資格を有する者、又は有
する予定の者で次に該当する者
〈一般職〉

昭和五十二年四月二日以降に
生まれた者

〈非常勤一般職〉

昭和四十九年四月二日以降に
生まれた者

■選考

書類審査、作文試験(一般職
のみ)、面接

■募集締切

九月三十日(木)

■申込方法

所定の採用試験受験申込書と
履歴書(市販のもの)に必要事
項を記入し、九月三十日までに
当組合事務室に提出してくださ
い。(採用試験受験申込書は当
組合事務室にあります)

■申し込み・問い合わせ

魚沼地区障害福祉組合庶務課

☎0257-792-0846

そば打ちスぺシャリスト 育成養成講座受講生募集

町では、昨年に引き続きそば
打ち名人を育成するため、左記
により養成講座を開催します。
受講を希望される方は、ぜひお
申し込みください。

■応募資格

町内在住で二〇歳
以上の方 性別は問いません

■条件

町で主催するイベント
に協力できて、講座終了後、
後継者育成指導ができる方

■講座

十月月中旬から十三回位
開催予定

■会場

仙田体験交流館・仙田
おおけやきの宿

■募集人数

一〇人程度(先着
順)

■申込期限

九月三十日(木)

■申込方法

電話申し込みと
し、後日詳細について説明を
します。

■受講料

無料

■その他

講座に必要な道具
は、主催者が用意します。

■申し込み・問い合わせ

農林振興課振興係

☎68-4954



教室・講習

『息づくらく教室』のご案内

十日町地域振興局健康福祉部では、「息切れ」や「痰・咳」でお困りの方（新規受講者）を対象に呼吸教室を開催します。

■日時（三回コース）

①九月二十八日（火）

午後一時～四時

②十月十二日（火）

午後一時～四時

③十月二十五日（月）

午前十時～午後二時半

■会場 なごみの家 会議室

■対象者 新規受講希望者。

肺気腫、気管支喘息、じん肺、肺結核後遺症などで、息切れ、咳、痰などの症状でお困りの方。

■内容

○肺機能検査、肺の病気について医師の講話

○理学療法士による呼吸法の講話と実習

○呼吸教室修了者の話

○参加者同士の座談会と昼食会

○保健師の生活指導・相談

■締め切り 九月十五日（水）

■申し込み・問い合わせ

十日町地域振興局健康福祉部

（十日町保健所） 地域保健課
☎57-2400

ポイラー取扱技能講習開催のご案内

上越会場

◎会場 上越地域職業訓練センター

（上越市高土町三十一―一五）

◎期日 十月二十六日（火）

二十七日（水）

新潟会場

◎会場 新潟県トラック総合会館

（新潟市新光町六一―四）

◎期日 平成十七年二月二十二日（火）

二十三日（水）

■定員 五〇人

■時間 午前九時～午後六時

■受講料 八、〇〇〇円（非課税、教材代を含まない）

※申し込み等詳細は、左記へお問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ

新潟県トラック総合会館

〒九五〇―〇九六五

新潟市新光町六一―四

トラック総合会館四階

☎・FAX

025-280-0100

相談

司法書士無料相談週間のお知らせ

新潟県司法書士会では、十月一日の「法の日」に因んで、会員各事務所において無料相談をお受けします。

■期日 十月一日（金）～十月七日（木）

（平日の執務時間において）

■会場 県内各司法書士事務所

■相談内容 訴訟、登記、供託等に関する法律相談

■相談費用 無料

■問い合わせ

新潟市古町通一三番町五一六

○番地

新潟県司法書士会

☎025-2228-1589

FAX025-2223-2270

ヤミ金、オレオレ詐欺、架空請求等の無料電話相談のお知らせ

新潟県弁護士会では、九月中、ヤミ金、オレオレ詐欺、架空請求等の被害に対する弁護士による電話相談を受け付けています。

■期日 九月中の月曜日から金曜日（祝祭日を除く）

■時間 午前十時～午後三時

■相談内容 ヤミ金、オレオレ詐欺、架空請求等

■相談料 無料

■問い合わせ・相談先

新潟県弁護士会

☎025-2223-8252



その他

特定不妊治療費助成のお知らせ

新潟県では、特定不妊治療費（不妊治療のうち体外受精および顕微授精）に要する費用について助成を行います。

■対象者

指定された医療機関で平成十六年四月一日以降に特定不妊治療をした法律上の婚姻をしている夫婦であって、次のすべてに該当する方となります。

○特定不妊治療（体外受精／顕

微授精）以外の治療法では、妊娠の見込みがないか又は極めて少ないと医師に診断された方

○夫または妻が、新潟県内に居住している方

○夫婦の所得の合計が六五〇万円未満の方

※指定医療機関については、お問い合わせ下さい。

■助成の内容

一年度あたり上限一〇万円とし、通算で二年間まで助成します。

■必要書類

○特定不妊治療費助成事業申請書

○特定不妊治療費助成事業受診等証明書（領収書添付）

○戸籍謄本

○住民票（夫婦の住所が異なる場合はそれぞれの住民票が必要）

○夫婦それぞれの所得証明書（所得額および控除額の記載のあるもの）

※特定不妊治療費助成事業申請書、特定不妊治療費助成事業受診等証明書は、十日町地域振興局健康福祉部にあります。

■問い合わせ

十日町地域振興局健康福祉部 地域保健課

☎57-2400

架空債権請求にご注意!



悪質業者が、「法務大臣が許可した債権回収会社」の名前又は類似の名前をかたって、「債権譲渡を受けた」などとして架空の債権を請求する事案が多発し、法務局や消費生活センター、警察などに相談や情報が数多く寄せられています。

このような請求を受けた場合は、次のとおりに対処しましょう。

- ①身に覚えのないものは支払う必要がありません。請求には応じないようにしましょう。一旦支払うと取り戻すことは非常に困難です。
- ②通知業者に連絡することによって、電話番号やその他の個人情報を知られてしまいますので、一切連絡しないようにしましょう。
- ③弁護士以外のものが債権回収業を営むには、法務大臣の「許可」が必要ですが、法大臣が会社・法人となることを

「認可」することはありません。よって、「法務省（法務局）認可特殊法人」という法人は存在しません。

④架空の請求は犯罪の可能性がありますが。最寄の警察に相談してください。

⑤法務大臣の許可した債権回収会社が、出会い系サイト、アダルトサイト、ツーショットダイヤルの利用料を請求することはありません。

⑥法務大臣の許可した債権回収会社が請求書で、担当者の連絡先として携帯電話を指定したり、個人名義の口座を回収金の振込先とすることはありません。

■相談先・問い合わせ

新潟地方法務局人権擁護課
☎ 025-2222-1563

農林振興課よりお知らせ

十月二十日まで

秋の農作業

安全運動期間です

ただいま、秋の農作業安全運動を実施しています。

毎年この時期には、コンバインによる事故が数多く発生して

います。

また、田畑への行き帰りの途中の交通事故もこの時期大変多くなっています。

常にゆとりを持った作業を心がけ、農業機械の点検整備と操

作は確実にを行い、路肩やほ場の段差に十分注意して転倒・転落事故を防ぎましょう。

■問い合わせ

農林振興課
☎ 68-4954

「合併後のまちづくりの仕組みを考えるシンポジウム」開催のお知らせ

- 【期日】 10月2日（土）
【時間】 午後2時～午後5時30分
【会場】 十日町市 市民会館ホール

十日町広域圏合併協議会と構成5市町村では、「合併後の地域が個々に輝くために！—住民と行政の新しい協働を提案—」と題し、合併後のまちづくりの仕組みを考えるシンポジウムを開催します。

基調講演では、講師に、地方自治全般を専門にされ今回の平成大合併では、キーパーソンの存在で全国の自治体から引張りだこの千葉大学教授大森彌（わたる）氏を迎え、時代背景を捉えたこれからのまちづくりについて講演をいただきます。

また、パネルディスカッションでは、浅野ゆう子氏（新潟NPO協会副代表理事）がコーディネーターを務め、様々な分野で先進的な取り組みを行っている高家卓範氏（岩手県葛巻町生涯学習課長）、小林康生氏（高柳町門出和紙職人）、河田珪子氏（前財新潟市福祉公社まごころヘルプ室長）と滝沢信一合併協議会会長をパネリストに、「住民による自治活動の振興策」、「仕組みとしての地域協議会のあり方・つくり方」、「住民と行政の役割分担と協働のあり方」などを考えます。

【参加申し込み】

会場の都合で入場者数が限られるため、参加を希望される場合は、川西町役場まちづくり推進課地域政策係（☎ 68-4952）までお申し込みください。



知っておきたい預金保護の新しいしくみ

平成17年3月までは、当座預金、普通預金、別段預金については、引き続き全額保護されます。



平成17年4月以降は、全額保護される決済用預金（※1）を除き、預金者一人当たり、一金融機関毎に元本1千万円までとその利息が保護されます。

（※1）「決済用預金」とは、「無利息、要求払い、決起きん済サービスを提供できること」という3条件を備えた預金で当座預金や利息の付かない普通預金が該当します。

預金等の保護範囲

		平成14年4月～平成17年3月	平成17年4月～
預金保険の対象商品	当座預金 普通預金 別段預金	全額保護	利息がつかない等の条件を満たす決済用預金は全額保護
	定期預金 定期積金 ビッグ ワイド等	合算して元本1千万円（※2）までとその利息等（※3）を保護 （1千万円を超える部分は、破たん金融機関で支払われます。（一部カットされることがあります））	
対象外商品	外貨預金 譲渡性預金 ヒット等	保護対象外 （破たん金融機関の財産状況に応じて支払われます。 （一部カットされることがあります））	

（※2）金融機関が平成15年4月以降に合併を行ったり、営業（事業）のすべてを譲り受けた場合には、その後1年間に限り、当該保護金額が1千万円の代わりに、「1千万円×合併等に関わる金融機関の数」による金額になります。

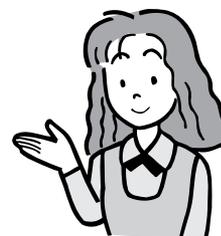
（※3）定期積金の給付補てん金、金銭信託における収益の分配等も利息と同様保護されます。

預金保険の対象となる金融機関

- 銀行（日本国内に本店があるもの） ○信用金庫 ○信用組合 ○労働金庫
 - 信金中央金庫 ○全国信用協同組合連合会 ○労働金庫連合会
- ※農協、漁協、水産加工協等は別途、農水産業協同組合貯金保険制度に加入しています。

預金保険制度に関する照会先

- 預金保険機構 ☎ 03-3212-6029
- 財務省関東財務局 ☎ 048-600-1275



第34回 川西町小学校 親善水泳大会結果

7月29日、千手小学校プールで第34回川西町小学校親善水泳大会が行われました。

大勢の観衆の中、選手たちは白い水しぶきを上げて練習の成果を発揮していました。



5年男子			5年女子		
自由形 25メートル			自由形 25メートル		
①高橋昂希 (上野)	②渡貴貴博 (上野)	③丸山俊貴 (千手)	①古沢優美 (上野)	②清水七夕美 (千手)	③馬場理江 (千手)
自由形 50メートル			自由形 50メートル		
①下沢良介 (千手)	②小林翔太 (上野)	③下沢佑介 (千手)	①稲田 萌 (千手)	②小幡千明 (橘)	③小海葉月 (上野)
自由形 100メートル			自由形 100メートル		
①上村伸一 (上野)	②小林翔太 (上野)	③内山弘章 (上野)	①中條文音 (千手)	②小幡千明 (橘)	③橋本加奈 (千手)
平泳ぎ 50メートル			平泳ぎ 50メートル		
①野沢健人 (橘)	②星名太一 (千手)	③下沢佑介 (千手)	①小山えりな (橘)	②押木日向子 (上野)	③相馬由佳 (橘)
平泳ぎ 100メートル			平泳ぎ 100メートル		
①野沢健人 (橘)	②田口敏樹 (橘)	③小林祐太 (上野)	①押木日向子 (上野)	②相馬由佳 (橘)	③宮 優子 (千手)
背泳ぎ 50メートル			背泳ぎ 50メートル		
①下沢良介 (千手)	②田村洋祐 (上野)	③丸山秀也 (橘)	①江口 優 (橘)	②春日亜里沙 (橘)	③数藤悠希 (千手)
バタフライ 25メートル			背泳ぎ 100メートル		
①上村伸一 (上野)	②山口隼人 (橘)	③高橋健一朗 (千手)	①和久井絵未 (橘)		
200メートルリレー (50M×4)			バタフライ 25メートル		
①上野チーム	②千手チーム	③橘チーム	①小山えりな (橘)	②江口 優 (橘)	
200メートルメドレーリレー (50M×4)			バタフライ 50メートル		
①上野チーム	②橘チーム		①高橋里香子 (橘)	②数藤瑞紀 (千手)	③中條美月 (千手)
			個人メドレー 100メートル		
			①高橋里香子 (橘)	②中條文音 (千手)	
			200メートルリレー (50M×4)		
			①橘Aチーム	②千手Bチーム	③千手Aチーム
			200メートルメドレーリレー (50M×4)		
			①橘チーム	②千手Aチーム	③千手Bチーム
6年男子			6年女子		
自由形 50メートル			自由形 25メートル		
①小林大樹 (千手)	②田村尚樹 (上野)	③高橋邦浩 (千手)	①高橋亜実 (千手)	②中嶋香奈 (上野)	
自由形 100メートル			自由形 50メートル		
①秦野喜三彦 (橘)	②星名陽太 (千手)	③渡辺泰周 (橘)	①高橋実弥 (千手)	②橋本 幸 (千手)	③樋口真央 (仙田)
平泳ぎ 50メートル			自由形 100メートル		
①南雲陽介 (千手)	②滋野 拳 (橘)	③桑原 溪 (上野)	①田中千穂 (橘)	②白井咲貴 (千手)	③根津友子 (橘)
平泳ぎ 100メートル			平泳ぎ 50メートル		
①小林大樹 (千手)	②和久井冬樹 (橘)	③滋野 拳 (橘)	①高橋りほ (千手)	②渡部亜紗美 (橘)	③橋本 幸 (千手)
背泳ぎ 50メートル			平泳ぎ 100メートル		
①櫃間 颯 (千手)	②丸山友浩 (橘)	③太田祥仁 (千手)	①高橋りほ (千手)	②中村亜希子 (千手)	③保坂優香 (千手)
バタフライ 25メートル			背泳ぎ 50メートル		
①秦野喜三彦 (橘)			①白井咲貴 (千手)	②田中千穂 (橘)	③野沢千明 (橘)
バタフライ 50メートル			背泳ぎ 100メートル		
①相崎郁哉 (千手)	②太田祥仁 (千手)		①野沢千明 (橘)		
個人メドレー 100メートル			バタフライ 25メートル		
①星名陽太 (千手)	②高橋直哉 (橘)		①丸山未彩紀 (橘)	②渡辺綾音 (上野)	
200メートルリレー (50M×4)			バタフライ 50メートル		
①千手Aチーム	②橘チーム	③上野チーム	①高橋実弥 (千手)	②渡部亜紗美 (橘)	
200メートルメドレーリレー (50M×4)			200メートルリレー (50M×4)		
①千手Aチーム	②千手Bチーム	③橘チーム	①千手Aチーム	②橘チーム	③上野チーム
			200メートルメドレーリレー (50M×4)		
			①千手Aチーム	②橘チーム	③上野チーム

第28回川西町民マラソン大会



第二十八回を迎える川西町民マラソン大会が、九月十八日(土)に川西中学校グラウンドを発着会場で開催されます。

この大会は、体育協会が毎年開催しているもので、当初は元旦マラソン大会として実

施してまいりました。それがいろいろと形を変え、今では駅伝を取り入れたものとなっております。この大会の特徴のひとつは、小学生、中学生、高校生、一般成人が同じコースを一緒に走る事ができるということです。

例えば、小学生とそのお父さんが同じレースで勝負する、というような姿が実現するのです。

駅伝の部は、距離によってA(二キロ×三人)・B(二キロ×三人)・C(三キロ×三人)の三コース用意されており、学年等により出場できるコースを決めています。

この駅伝でも高校生以上一般成人は、どのコースにも参加できることになっています。個人走では、全員に完走タイムの載った記録証を差し上げています。

駅伝では、各組分けごとに表彰を行います。一位のチーム三人に金メダルを、一位から三位までのチームに賞状を授与します。

それから、参加者全員に参加賞を差し上げています。

この時期、秋の収穫にお忙しいと存じますが、かわいい小学生や一生懸命な中学生が、川西中学校周辺の道路を大勢走っていると思いますので、見かけましたら是非声援を送ってあげてください。よろしくお願いします。

●お問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局 (☎68-2167)

ゲームアップ 役曲場 40

金メダル級の成果?

某月某日の夕刻、場所は某保育園。ふだん園児を相手に行っている保育士が向かっているのはパソコン。その間に入っている若手?の男性職員。



説明するまでもなく、保育士のパソコン研修の様様です。ただ、今回の研修はワープロや表計算の基本ソフトの研修ではなく、庁内LAN操作の研修。職員一人ひとりのスケジュール管理から設備予約、メールの收受から例規集や町のホームページも含めたインターネットの閲覧、掲示板やファイル管理など実務の上で必要な機能を一気に学びました。

中には、パソコンにさわるのも初めてという職員もいて、「あれ、消えた」「子どもと違って言うことを聞かぬ」など、悪戦苦闘する場面もありました。が、約二時間、一部マンツーマンの集中研修を受けた結果、全員ひととおりに使えるようになりました。

こうした研修の甲斐あってか、今年の全国自治体行政情報化ランキングは昨年の二、二四八位から三五一位、県内順位は八一位から一二位へと大躍進しました。

アテネ五輪の日本のメダルラッシュよりも価値がある、とある職員はいうのですが…。

手づくり神輿みこしの巻

「とても親には真似しゃんねて」。父親で棟梁の押木登さん（53・元町／写真左）は、目を細めながらこう言います。

父のもとで働く押木拓巳さん（22／写真右）は、平成十四年十一月から一年十か月かけて、手づくりの神輿を一人で組み上げました。



ヤキ造り、指物だけで釘は一本も使っていません。教える人も図面もなく、手本は実物の神輿だけ。「浅草に何回も通って、本場の神輿をじつと眺めてきました」と、一流のものを目に焼き付け、手でひたすら部材を削ってここまで作りあげました。

どうして神輿づくりをしようと思ったのかとの問いに、拓巳さんは、「うーん、…むずかしいものに挑戦したかったから」と答えます。

特に難しかったのは「屋根作り」で、「全部曲（まがり）になってるんだがの」と、登さんが解説します。

二尺三寸（約七〇センチ）四方の神輿は、本場浅草では一千万円から数千万円もします。

拓巳さんの神輿は、屋根頂部に鳳凰ほうおうが付いて完成です。

「あと、一か月か二か月かな…」。出上がったら？の問いに、「元町（集落）に寄付します」とキッパリ。ほかに製作依頼があったら？には、「それは、考えていません」と、あくまでも自分への挑戦であることを強調します。

来年の祭りには、この神輿が元町集落を練り歩きます。



足から健康！

「からだの衰えは足からやってくる」といわれます。これは足を動かすことが年齢とともに減ってくることも原因です。また、年齢とともに歩く速度が低下してきます。これは足の筋力が低下し、歩幅が狭くなるためです。足の筋肉を鍛えることが、いつまでも元気に歩くために大切なことです。

「からだの衰えは足からやってくる」といわれます。これは足を動かすことが年齢とともに減ってくることも原因です。また、年齢とともに歩く速度が低下してきます。これは足の筋力が低下し、歩幅が狭くなるためです。足の筋肉を鍛えることが、いつまでも元気に歩くために大切なことです。

また「足は第二の心臓」とも言われます。血液は心臓の働きによって循環しますが、下半身の血液は重力の影響で心臓へ戻りにくくなっています。ところが、足には全身の筋肉の三分の二があり、この筋肉が下半身の血液循環を助けます。ぜひ足を鍛え、筋肉を使い

また「足は第二の心臓」とも言われます。血液は心臓の働きによって循環しますが、下半身の血液は重力の影響で心臓へ戻りにくくなっています。ところが、足には全身の筋肉の三分の二があり、この筋肉が下半身の血液循環を助けます。ぜひ足を鍛え、筋肉を使い

また「足は第二の心臓」とも言われます。血液は心臓の働きによって循環しますが、下半身の血液は重力の影響で心臓へ戻りにくくなっています。ところが、足には全身の筋肉の三分の二があり、この筋肉が下半身の血液循環を助けます。ぜひ足を鍛え、筋肉を使い

また「足は第二の心臓」とも言われます。血液は心臓の働きによって循環しますが、下半身の血液は重力の影響で心臓へ戻りにくくなっています。ところが、足には全身の筋肉の三分の二があり、この筋肉が下半身の血液循環を助けます。ぜひ足を鍛え、筋肉を使い

運動をするにはもってこいの季節にもなりました。手軽に「ウォーキング」に挑戦してみるのはいかがでしょう。

いきなりスピードを出すのはけがのもと。ウォーキングアップを十分に、こまめに水分補給をすることを勧めます。また、足にお勧めします。また、足にあった靴で、底にはクッション性があるものが適当です。せつかくはじめたウォーキングでも、転んでしまつては大変です。足を良くマッサージして目覚めさせ、転倒を予防しましょう。また爪を切りすぎると、地面を踏みしめたり、バランスをとることが困難となります。お手入れには注意を。歩くのが良いことは十分承知。でも既に膝や腰が痛くて歩くことが難しいという方。水の中での運動をお勧めします。水の浮力で体重が軽くなり、膝や腰への負担が少なくなります。また水の抵抗があるので、運動量は陸上より増えます。いつまでも元気で歩つらつと過ごしたいですね。

善意

(敬称略)

福祉に
吉楽 正雄 (神社町)
高橋 一能 (坪山)
上村 一郎 (上野)
十万円
五万円
三万円

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

小海 吉太郎 83 (本人) 小根岸
木村 哲夫 83 (本人) 仁田
田中 ハル 74 (精作) 神社町
平野 市郎 54 (本人) 上島
茂野 栄 67 (本人) 室島
増田 チヤウ 84 (光行) 室島
野沢 柚季 和生
清水 結月 美也子
上野 口

滋野 楓大 真二 野口
根津 壮汰 淑裕 田中町
中村 拓哉 智強 大白倉
羽鳥 さえ 幸治 みのり団地
星名 広人 友重 沖立

(8月1日〜31日届け出順)



かわにし俳壇

高崎正風選

節黒の城址を包む蝉しぐれ
文鎮は那智黒なりし青田風
錠前のいらぬ暮しや星涼し
青空のただ一色に秋立ちぬ
つるたぐり今年最後の胡瓜もみ
掃うべき苔無き墓を洗ひけり
新町新田 若山 向山

事故という不慮の死ありし盆果てぬ

上町 高橋 願似

かなかなの鳴いて夜明けの畑仕事

植木鉢倒し台風過ぎ行けり

お楽しみ抽選までの踊りの輪

朝顔のすだれのごとく窓ふさぐ

踊り場の灯りに群れる羽蟻かな

うつむきて向日葵の種実りけり

新涼の庭石見ゆる座敷かな

緑陰のベンチ静かに老夫婦

アテネより感動貰い爽やかに

夏帽子米寿の人と見えざりき

雨持たぬ雷遠く去りにけり

一夜にて出水爪跡残し去る

永らへて紫陽花寺の句碑を守る

身の置きどなき残暑とはなりにけり

霜条 星名 星光

南瓜づる延びて小路をふさぎけり

バス停の近道田道草いきれ

鉞肩に見廻る棚田青嵐

盆迎うことなく友の逝きにけり

猛暑なる清水の音の涼しさよ

盆迎うことなく友の逝きにけり

耕やして秋の野菜の区割かな

稲刈りの仕度万端整えて

秋近くなりたる茄子のうまさかな

大花火夜空を染めて美しき

山野田 中條 石平

< 8月号の答え >

「(信濃川) 千手発電所」

今回の正解者は、次のお二人でした。お二人には記念品をプレゼントします。(敬称略)

木村昭一 (中仙田)、桑原要雄 (新潟市)

休日救急医

9月19日 小林内科医院 (十日町市中条中町) 52-7155
津南病院 (津南町大割野) 65-3161
20日 たかき医院 (十日町市土市第5) 58-2361
23日 せき整形外科 (十日町市四日町第2) 50-1155
26日 石川医院 (津南町上郷宮野原) 66-2061
中条病院 (十日町市北原) 57-3018
10月3日 富田医院 (川西町発電所通西) 61-0200
津南病院 (津南町大割野) 65-3161
10日 川西町国保診療所 (川西町高原田) 68-2034
11日 池田医院 (十日町市本町西1) 52-2581

■表紙の写真

ベリーのジャムづくりでのスナップです。目の前においしいものがあると、だれでも自然に顔がほころびます。

? 町勢要覧クイズです?

「2003 町勢要覧」に記載されている内容を中心にクイズを出しています。

< 川西町が誕生した年月日は? >

ヒント：全戸配布した町勢要覧をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り… 9月24日 (金)



「こども自然王国での私」
2年生 登坂末希



「ウォークラリー いっぱい歩いたよ」
1年生 増田歩美

▶ 「カンポックリで、
もうすぐゴールだ！」
4年生 登坂加奈子



▶ 「やったー！
おうえん1位だ！」
3年生 中條 渉



(10月号は川西中学校です)



「桜の木の下で」
6年生 樋口真央



「学校の中庭」
5年生 増田祐也

ると思うのだが…

④

新しい市が生まれることに合
わせ、市内の寺院等を結んで
「花の三十三番札所」や、「名木
八十八か所めぐり」などが組み
たら、また新しい価値が生まれ

ある。
寺院が宗教空間であることは
もちろんだが、人と自然が育む
半ば公共的ないやしの空間でも

つてくる。
いと手入れをする人の心が伝わ
そしてそこからは、古人の思
くと、なぜかとても安心する。

花と並んで、お寺には名木、
巨木、古木が多くある。多くの
時を経てきた大樹の幹に手を置
つてくる。



お寺と花の関係については前
にも述べたが、春の桜に始まっ
てアジサイ、ハス、萩、菊…と
四季を通じて様々な花がそれぞ
れの寺院の境内や周囲を彩って
いる。